

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後児童デイサービスセンター ぷくぷく			
○保護者評価実施期間	2024年 9月 24日		～	2024年10月11日
○保護者評価有効回答数	(配布件数)	37件	(回答者数)	31件
○従業者評価実施期間	2024年 10月 4日		～	2024年10月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6件	(回答者数)	6件
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自由遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の好きな遊びを提供している。 ・自己選択する機会を作っている。 ・発達段階に応じた遊びを提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びが固定しやすい児童もいるため、本人が好きなものを取り入れた工作など、楽しみながら色々な活動を経験してもらえよう心掛ける。
2	館内清掃や整備を行ない、快適に過ごしてもらえようように配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、受け入れ前の館内消毒や、受け入れ後の館内清掃を行っている。 ・館内数カ所にエアフィーノ（オゾン発生器）を設置し、消臭・除菌に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・破損したおもちゃのチェックなどを行ない、怪我なく安全に活動できるように配慮する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域資源が活用出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・マンツーマン対応の児童が多く、屋外での活動において安全確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループに分かれて、地域資源を活用していく。 ・スーパーや図書館等身近なものから活用していく。
2	施設内の生活空間が保護者の方にお伝えできていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・通信や写真などで活動内容はお伝えしているが、実際の場面を見もらうことは少ない。 ・契約時に見学して以降、館内を見られる保護者の方はほぼおられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信で年1回、館内の部屋の様子などをお知らせする。 ・活動の場を保護者に見ていただけるように、見学会を検討する。
3	「放課後等デイサービス計画」を示しながらの丁寧な説明が出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にお渡しして確認していただいているが、実際に書面を見ながらの丁寧な説明が出来ていない。 ・拠点送迎を利用されている方が多く、送迎中の説明が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に予定を確認し、電話連絡や面談などの機会を設ける。

保護者への説明等	10	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	0	0	コメントなし	
	11	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	4	5	コメントなし	
	12	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	0	7	・良く理解して頂いていると思いますが、こちらの伝える頻度が少ない印象があります。	・今後、各家庭と面談（対面・電話）を行なうことを計画しております。その際、支援計画の説明やご家庭等の情報共有できたらと思います。
	13	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	5	9	・面談はないですが、送迎時困り事への対応など相談させていただいています。	
	14	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	4	コメントなし	
	15	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2	8	・まだ相談したことがないです	・児童の悩みや困り頃があった際は、支援員に知らせたらよいことを都度伝えています。児童から相談があった際には、本人の希望により、個室で対応しています。 ・保護者からの相談があった際には、お話を聴き解決できるように努めています。今後、面談の機会を作り、より相談しやすい環境を作ります。
	16	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	3	コメントなし	
	17	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	1	1	毎回、通信を楽しみにしています	・自己評価終了後に、法人ホームページに公表しています。公表後に通信にてお伝えさせていただきます。 ・通信にて、活動の様子や行事予定等お伝えしております。
18	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	0	コメントなし		
非常時等の対応	19	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	7	コメントなし	・契約の際に、緊急時は各種マニュアルに沿って対応することをお伝えさせていただいております。 ・今後、マニュアルの見直しや訓練の実施をした際には、通信等でお伝えさせていただきます。
	20	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	0	4	・わからないです、ごめんなさい	・毎月1回、避難訓練・通報訓練・消火訓練のいずれかを行っております。
	21	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	0	5	コメントなし	・今年度より安全計画を策定し実施しております。 ・『危険生物について』『交通安全について』など、児童に説明する時間を設け、その様子について通信でもお伝えさせていただきました。
	22	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	0	5	・まだ経験がないからわからない ・子どもが怪我をした際に、電話で連絡があり安心できました ・事故が発生したことがないです	・保護者に怪我の状況など具体的にお伝えするように心がけています。診療所の看護師が勤務している時間帯であれば、視診や処置を依頼しています。
満足度	23	こどもは安心感をもって通所していますか。	30	0	1	・1番安心して通える場所のようです ・とても安心している場所です	
	24	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	0	2	・後、半年…しっかり通いたいです。 ・とても楽しみで大好きです	

満足度	25	事業所の支援に満足していますか。	28	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます ・大大満足です！我が子は発語がないので、自分なりに要望や感情を伝えるのですが、ぶくぶくの先生みなさんが家族と同じように理解して下さり反応して下さっていることで、ぶくぶくで安心して過ごしているようです。家族としても、とても安心しています。本当にありがとうございます。 ・利用料の支払方法を電子決済もできるようにしてほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用者の皆様楽しんでいただける事業所であるよう、努めてまいります。 ・利用料の支払い方法（電子決済）については、今後検討していきたいと思っております。
-----	----	------------------	----	---	---	---	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後児童デイサービスセンターぶくぶく		公表日		2025年 1月24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	コメントなし		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・加配で職員を配置している。マンツーマン対応の児童が複数いる場合には、人手不足と感じることもある。 ・曜日や利用人数によっては、職員が多く感じる時がある（利用児童の休みが重なった日など）。	・より安全で充実した活動を提供出来るよう、加配で職員を配置しております。 ・風邪などでの欠席が数名重なった場合に、定員を下回ることもあります。その場合には、キャンセル待ちをされている方へお声掛けさせていただいております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	コメントなし		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日掃除や消毒を行ない、快適に過ごせるよう配慮している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	コメントなし		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・正規職員は年2回目目標設定や振り返りの機会が設けられているが、契約職員はない。	・正規職員、契約職員ともに、年2回施設長との面談の機会が設けられています。 ・毎月の会議にて、業務改善の提案や振り返りなどを行なっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・破損したおもちゃのチェックなどを行ない、怪我なく安全に活動できるように配慮する。	・参加できない職員にも知らせ、全職員が業務改善の意識をもてるように努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・日頃から意見を伝えあえる環境だと感じます。 ・毎日の引継ぎや月1回の会議で挙がった意見は、職員で検討し改善している。 ・職員会議で結果を公表し、業務改善に努めている。		
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者研修や、OJT・障がい特性・虐待等の研修に参加する機会があった。 ・法人内部の研修、また外部の研修に参加している。		
適切な支援の提供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	・今年度中に公表予定です。 ・現在作成中であり、今年度中に公表予定である。 ・福山市から送られてくる用紙に記入し、どんなことをしているのか公表している。 ・支援プログラムがわからない。	・今年度からの報酬改定で新たに策定されたことなど、職員全体で確認する場を設けていきます。	
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・聴き取り調査票で書いてくださった内容や直接のやり取りから、個別支援計画にニーズを反映している。		

適切な支援の提供	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・年2回モニタリング会議の時に職員が情報共有したり、提案したりして支援計画を作成している。 ・最近、モニタリング会議に参加していない。	・現在、児童発達支援管理責任者と正規職員がモニタリング会議に参加しています。今後、契約職員も参加する機会を設けます。参加できない場合は、モニタリング会議の内容を共有して決定事項を知らせ、共通理解の下で支援ができるようにします。
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・職員会議で支援計画の内容を職員に情報共有している。 ・支援で協力することあれば言っしてほしい。	・計画作成後に職員全体で内容の確認をし、また定期的に内容確認や振り返りを行なっています。
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・日誌アプリに1日の様子を打ち込みしている。	
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・行事はしていない。	・課題遊び（調理・感覚）の年間計画を作成し、実施しています。クリスマスや節分等季節の行事については、職員で話し合いプログラムを検討しています。 ・行事や外出など、職員で話し合っって年間計画の調整をしています。
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	コメントなし	・自由遊びが主ではありますが、固定化しないように課題遊びや行事、外出（ドライブなど）も取り入れながら活動しております。 ・本人の特性や希望により、活動内容が偏ってしまうこともありますが、本人の興味に合わせた活動プログラムを提供できるように努めてまいります。
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	コメントなし	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・受入前に引継ぎで支援について話し合っている。 ・学校が開校している平日は、受け入れ前にその日の引継ぎを行ない、情報共有している。 ・平日に引継ぎは行なっている。毎日ではないが、必要に応じて活動を確認している。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・退勤時間が他職員と合わず共有できないこともあり、次の日に必ず共有している。 ・受入終了後当日は振り返りの時間を取れないが、翌日話そうにしている。 ・支援終了後に打合せをする時間を設けることは出来ていないが、日誌を打ちながらその場にいる職員のみで今日の出来事など振り返りをしている。 ・特別なことがある時は記録を打ちながら話し合っている。	・支援終了後は、送迎のため職員全員が集まる時間が取れない状況です。翌日振り返って話をするようにしています。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・ヒヤリハットや身体拘束等の検証を年1～2回職員会議で行なっている。	
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・年2回モニタリング会議を行なっている。 ・モニタリング会議には参加していないが、会議は行なわれている。	

適切な支援の提供	22	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1	・地域の公園や動物園での活動、スーパーやドラッグストアなどで買い物体験の提供を行った。 ・地域交流の機会として、地域の公園や図書館・動物園へ余暇活動で行った。	・「4つの基本活動」とは、①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供、です。③の地域交流に関してなかなか実施できていない現状がありますが、まずは図書館や動物園の利用、買い物体験などの地域資源の活用から取り組んでいきたいと思います。
	23	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・余暇活動の内容等一人一人意見を聞いたり、紙やホワイトボードを利用して目からも情報を入れられるように支援している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者、個別支援計画担当者が会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・怪我等あった時には、傍にあるゼノ診療所へ行ける体制をとっている。	
	26	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	コメントなし	
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・児童発達支援事業所と、児童の就学前の様子について聴き取りをしている。保育所・幼稚園・認定こども園とのやりとりはほぼない。 ・出ていない。	・保育所や幼稚園に通われている方が通所されるケースがほぼない状況です。今後連携が必要な場合には、保護者の方を通じて連携をしていきます。
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・依頼があれば情報提供を行なっている。 ・今の所、そういう機会がない。移行会議のお誘いがあれば参加したいと思う。	・卒業後の移行先について、必要に応じて会議への参加や資料などの情報提供をしていきます。
	29	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	・児童発達支援センター主催の研修に参加することはあるが、スーパーバイズや助言は受けていない。 ・地域の児童発達支援センターとの連携はない。	
30	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・地域の公園に行き挨拶をすることはあるが、一緒に活動とまでは言えない。 ・地域児童と交流する機会がない。	・地域の子どもたちとの交流は出来ない現状です。地域交流を行なっている事業所の見学などを行ない、ぶくぶくで出来ることを検討していきたいと思います。12～1月に福山市内の事業所へ見学に伺いました。	
関係機関や保護者との連携	31	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	コメントなし	
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡帳や送迎時のやり取りで、児童の様子を伝えるようにしている。送迎時は十分に話す時間が取れないため、今後面談を設けて話をしていきたい。 ・連絡帳でやりとりしている。ぶくぶくに迎えにこられる保護者に対しては、直接伝えている。	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	・家族支援プログラムや家族参加型の研修の機会は作れていない。	・研修の主催までは難しいですが、研修の情報提供などは今後行なっていきたいと思います。
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に説明している。 ・内容に変更がある場合は、保護者へ案内を送ったり口頭にてお伝えしている。	
	35	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・活動中に児童から意向を聞いたり、保護者に毎年お願いしている聞き取り調査票へ記載して意向を確認している。	

保護者への説明等	36	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時などで支援についてお伝えしたが、計画を示しながら説明はできなかった。 ・確認して同意をいただいているが、細かな説明はできていない。 ・保護者へ支援計画を渡し、家庭で確認してもらっている。内容が良ければ印をつけてもらい、返却してもらっている。保護者と面談や電話等で一緒に個別支援計画を確認しながら話が出来るのが良いと思う。 	・保護者の方にその都度配布しご確認いただいております。今後面談などを実施し、より丁寧な説明や情報共有が出来るよう、検討しております。
	37	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・相談には応じたが、面談はできていない。 ・保護者からの相談があれば対応している。助言が十分にできないこともある。 ・家族から聞いた悩みについては、現場に持ち帰り、引き継ぎ等で検討している。話した内容については、話し合い後に保護者へ伝えている。 	・今後、各家庭と面談（対面・電話）を行なうことを計画しております。その際、支援計画の説明やご家庭等の情報共有できたらと思います。
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・数年間父母会は開催されていない。昨年のサービス評価で今の事業所内の様子がわからないという意見もあり、そういう機会を設けるのも必要なのかもしれない。 	・まずは、各家庭との面談を優先的に取り組んでいきます。今後、保護者の方からご要望があれば、開催を検討します。
	39	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今の所、苦情は挙がってきていない。 	
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年数回事業所だよりを家庭に送っている。 	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	コメントなし	
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	コメントなし	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の行事に地域住民を招待することはない。 	・現在行なっている事業所の見学などを行ない、ぶくぶく出来ることを検討していきたいと思います。
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの策定や訓練の実施はしているが、保護者への周知はできていない。 ・各マニュアルはあるが、保護者には周知できていない。昔はしているかもしれないが。 ・発生を想定した訓練は出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約の際に、緊急時は各種マニュアルに沿って対応することをお伝えしています。 ・今後、マニュアルの見直しや訓練の実施をした際には、通信等でお伝えします。
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に基づき、交通安全や危険生物などについて、児童が学べる機会を提供している。 ・安全計画を立てて、設備等確認をしている。交通安全や危険生物等の話を終わりの会で全児童に対し話している。 	
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画の取り組みについて、通信で様子をお知らせしている。 ・安全計画があることやどんなことをしているのかはお便りや連絡帳で伝えている。 	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや事故報告があった時には、近日の引継ぎで議題にあげて再発防止案を検討している。決まった内容を保護者に伝えるようにしている。 	
非常時等の対応	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	放課後デイサービス連絡協議会主催の虐待防止研修会（オンライン）に参加した。参加できる職員は参加した。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束に関する契約書を保護者に確認してもらった。	